

# アニミズムと世代間連帶 —死すべきものとしての人間・補足—

2009年7月13日

学術俯瞰講義

島園 進

‡:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。

# I. 生命倫理は死生観を反映する

- 死生観の相違が反映していると見られる生命倫理の諸領域
  - (1)脳死・臓器移植(生体間臓器移植)
  - (2)安楽死
  - (3)人工妊娠中絶
  - (4)生殖補助医療
  - (5)出生前診断・着床前診断

- 脳をもち、理性をもつ人間を特別視して、その理性によって自然を知り、自然支配を進めるという哲学によって人間は自然支配を拡大し、輝かしき近代文明を作った。しかしこの近代文明を作り終えたときに、自然はまさに人間に対する復讐を開始したのである。それが現在における地球環境破壊の危機という問題であるが、近時、ヨーロッパにおける激しいデカルト批判の思想的動きは、こういう地球の危機の認識と密接に関係しているのである。

臨時脳死及び臓器移植調査会「脳死及び臓器移植に関する重要事項につき(答申)  
「少数意見の思想的立場」

- 人間の体が単なる機械ではないということは、他ならぬ臓器移植そのものが発見した真理なのである。なぜなら。臓器はそれ自身情報体系をもつていて、別の情報体系をもっている身体に移植された場合、相互に拒絶反応を起こさざるを得ないからである。このことは、体が決して機械ではなく、比喩的にいえばそれ自身魂をもつものであることを意味するものである。

臨時脳死及び臓器移植調査会「脳死及び臓器移植に関する重要事項につき(答申)  
「少数意見の思想的立場」(続))

◇「人間の尊厳」を人間の属性の優位性に求める考え方。

◎人間は他の動物とは異なり、理性をもつが故に尊厳をもつ。

◎神の似姿としての人間という観念につながる。

◎「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獸、地を這うものすべてを支配させよう。」神は自分にかたどって人を創造された。／男と女に創造された。／神は彼らを祝福して言われた。／「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」(創世記1-24, 28)

## II. アニミズム

‡

‡



写真提供:玉姫稻荷神社

◇子どもの「アニミズム」(J.ピアジェ『臨床児童心理学Ⅱ 児童の世界観』 同文書院、1955 (原、1926))

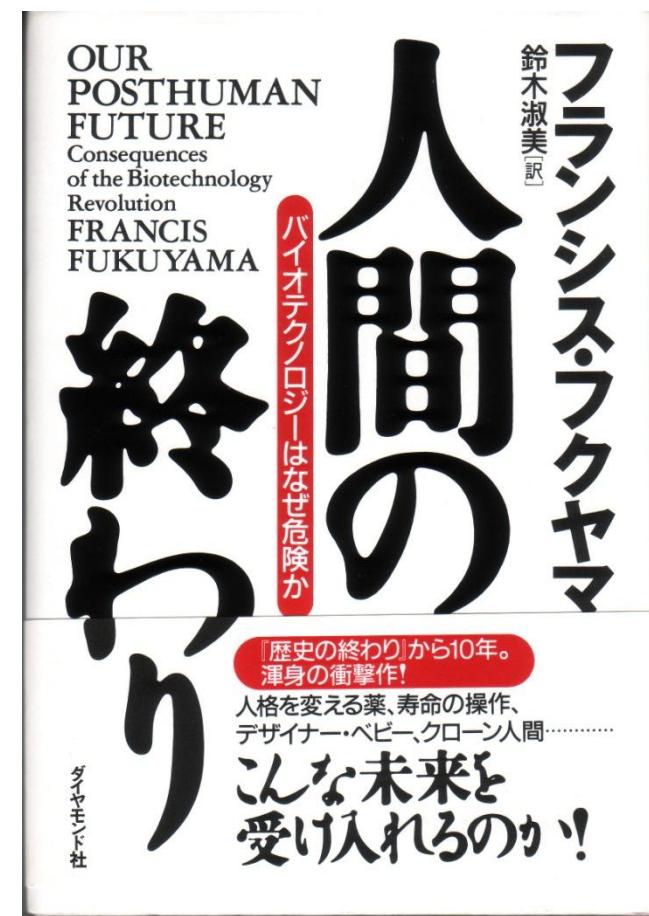
例1) ボールの意志——「どうして、ボールはころがっていくの？」／「床が傾いているから、下の方へいくのよ」／「ボールはそこに先生がいるのを知っているの？」

例2) 寂しい花——ある女の子がよく道で石や花をとって家へもって帰るが、その時、いつも2つ3つ持っていく。「どうして？」／「友達がいないと寂しいから」

例3) 痛い木——くるみの木に穴があいているのを見て  
「穴があいた時、泣かなかつた？」

## ◇「人間改造」をめぐる議論

著作権処理の都合で、  
この場所に挿入されていた  
“Our Posthuman Future:  
Consequences of the  
Biotechnology Revolution”  
Francis Fukuyama  
の表紙を省略させていただきま  
す。



Francis Fukuyama (著), Francis Fukuyama (原著),  
鈴木 淑美 (翻訳)  
『人間の終わり—バイオテクノロジーはなぜ危険か』  
ダイヤモンド社 (2002/09)

2003年

2003年

## ■ フランシス・フクヤマの東アジア脅威論

「たとえば、アジアでは、西洋で理解されているような宗教——つまり、超越的な神に由来する信仰体系を持つ宗教——がない国が多い。中国で支配的な倫理体系は儒教だが、これには神という概念がない。道教や神道のような民俗宗教はアニミズム(animism)であり、動物(animal)と生きていない(inanimate)物質の双方に靈的な性質があると見なしている。」

「佛教では人間と人間以外の自然を区別せずとも  
に断絶のない宇宙の一部だと見なしている。キリスト教と比べた場合、佛教、道教、神道のようなアジアの諸伝統は、人間とそれ以外の被造物との間に  
明確な倫理的区別を立てない傾向がある。(中略)  
しかしこれは裏を返せば、人間の生命の神聖性  
(sanctity of human life) に対して敬意を払う度合  
いが、何ほどか低くなることをも意味する。アジアの  
多くの地域で、実際、中絶や幼児殺し(とくに女児)  
といった慣習が広まっている。」

ることにあるからであろう

魂を安定期であることは強調され、  
礼が通過儀式であるとする目的を果たすための手段  
となるものだろう。その  
ヘビやカニ、あるいは工  
主に卵生で、脱皮をくり  
返に生きつづけるかに  
求められた。

つまり、仮死状態の「」よりの空間

そのうりぬけることでの再生。その死と再生のくりかえの呪的配置で、死を妄想、強化で生きり札のものだと日本人は考へた。生まれ替わりの原理といつていいだろ。これには、さまざま呪文・呪具・呪的行為なども少なくことは、もちろんである。

## 安産と成長を 祈るおまじない

文・写真 || 萩原秀三郎 (以二)

地蔵は現実界と冥界の境に立ち、冥界へいくものの救うたのが強調されるようになつたのは中世のことだといふ。こうして地蔵は境の神の性格をあわせもつようになり、子授けにも靈力を見発揮することとなる。奈良県宇陀(うだ)市大宇陀町大蔵寺には、木製の小さな地蔵が並んでゐる。子どもの欲しい人はこれを借りてきて、子どもの授かると畜生を寄せおかえしする。

人生の重要な時期（誕生、成年、結婚、厄年、死）には、いろいろな宗教的儀式がある。人間の一生にはたどらねばならない、一定の段階があり、儀礼をともなす。これを通じ儀礼という。

人がこの世に生を受けるのは、あの世から魂をこの世に送りこまれて再生するのだといふ。魂は、この世の仮の肉体に宿り、死すれば再びあの世へ戻つて行く。死後の靈廟は、まだあの世のものとこの世のものと定まらず不安定期にある。成育段階で儀礼が多いのは、このためであり、儀礼は靈魂を安定させるための一種の鎮魂儀礼であるといつてもいい。成育の儀礼そのもの本質が、いわゆる通儀礼そのもの本質が、いわゆる通



右：神奈川県伊勢原市藤野上では1月14日に道祖神祭を行なう。道祖神の小祠の屋根を葺きかえ、野菜でつくった男女の性器をお供えする。この性器はノシをつけ水引をかけて、新嫁さんの家庭にもちこまれる。枕元に置くと子どもが授かるという。

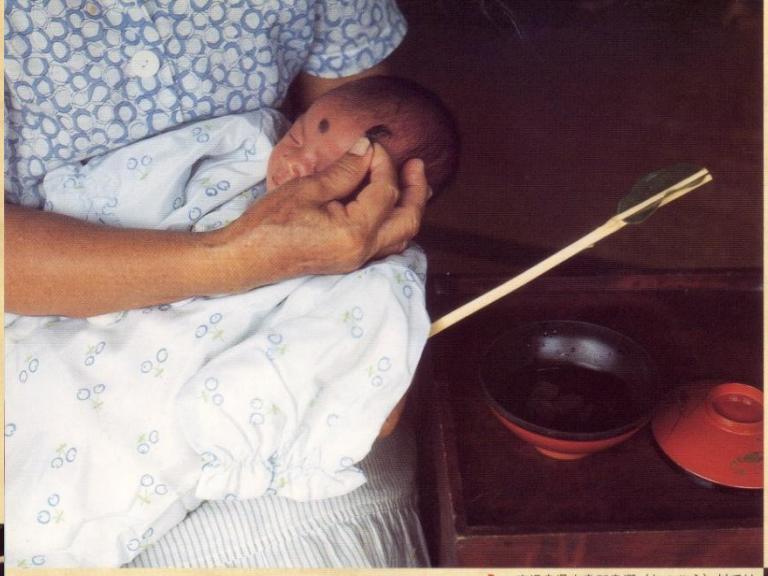
左：長野県茅野（ちの）市の産土神（うぶすながみ）には安産祈願の女性が、大願成就に底ぬけ柄杓（ひしゃく）と小旗を奉納している。地方によっては底に穴を開けた椀を奉納する。柄杓も椀も中がうつろな容器であり、その中に魂がこもるものと考えられていたから、心願成就で魂を解き放つので解される。



下右：千葉県印旛郡酒々井（しじい）町本佐倅の吉祥寺には、乳の出がよくなるようになると祈願した小繪馬が多く奉納されている。乳がいきおいよく出ている図柄に、切実に乳の出を願っている心情が察せられる。（写真＝萩原法子）

下左：滋賀県甲賀郡甲南（こうなん）町の薬師堂に乳の出と安産を祈願した絵馬がある。乳房をかたどった作り物で、乳がはっていいるさまをあらわしている。

102



鹿児島県大島郡奄美町（たつごう）村では、出産後1週間目をナンカユウェといい、命名祝いをします。祝いの日の朝、海辺から3個の小石と3匹の小ガニを拾ってきて椀に入れ祝い膳に乗せます。赤子の額には鍋墨をつけ、1年生の女性が描いて小ガニを額にはわせ、カニの再生力をあやかる唱え言をします。「ヤナマイヤ、〇〇チ、チケタムド、ガンネーシ、フテカクトセヨ」（貴方の名前は〇〇とつけたよ。カニのよう）元気で世間を広くもらちなさい）



上：大分県国東町富来（とみく）では、生産と同時に産飯を炊いて祝う。高盛爺餅と小皿に小麦2個と塩を乗せる。産育儀礼では、産後、3日目、5日目、7日目を祝う風があり、ここに7日目は大きなけじめである。産神（うぶがみ）もお七夜には立ち寄るという。



## 初宮参り

初宮参りが赤子の初外出の機会となることが多いため、男児が32日目、女児が33日目が一般的である。これを氏子入りとする例も多い。明治神宮で見かけた犬張子をさげての初宮参り





# マイバースデイ MyBirthday

DEC. '90  
NO. 202

12

恋のクリスマス  
特大号!  
CONTENTS

Monthly Horoscope 25 マンスリー・ホロスコープ  
11/11-12/10  
エミール先生の毎月、毎日の星占い

今月の星座特集  
世紀末あなたの  
愛と結婚編

## いて座生まれ細密研究

★今月の特集『恋のクリスマス』他  
おひつじ座…26 おうし座…28 ふたご座…30  
かに座…32 しし座…34 おとめ座…36  
てんびん座…38 さそり座…40 いて座…40  
やぎ座…42 みずがめ座…44 うお座…46



3  
大  
付  
録



●野崎先生ありがとう!

### 野崎ふみこの表紙絵グラフィティ 212

好評連載

第23回 '91スケジュール帳

MBとおきのマニッシュ(?)X'mas

MBワールドクラブ…54

第88回 頭をぶくする食事法はコレ!

チャーミングレディ入门…55

第78号 ときめきおまじないクラブ…122

読者のページ  
ハローバースデイ…125

ルル・ラブア…65

●1991ハッピーカレンダー  
●恋の相性テストBOOK  
●小沢真理の  
ロマンチックX'masカード…5

●MBファッション  
小物で勝負! 真冬の着こなし…8

●テーマ特集  
フェイスストレーニング  
顔の体操できれいになろう!…49

●MBビューティ1  
キュートなショートヘアカタログ…60

●クリスマス特集  
夢いっぱいのクリスマスBOOK

I 予算別 クリスマス  
ギフトカタログ…102

2 あなたはどの国のお菓子にする?  
世界のクリスマスお菓子…108

ひみつのおまじないつき  
3 彼へのプレゼントは  
手編みのニットで!…112

●MBビューティ2  
この冬いちばんの  
チャーミングリップになりたい…157

●シーケレットタイム  
NUIGURUMIものがたり…207

魔女っこハウスの恋グッズ＆ラッキーグッズ  
クリスマス500名プレゼント…3

応募者全員大サービス  
1991年のあなた細密星占い…23

My Birthday読者アンケート  
あなたのこと、教えてください…91

●テスト特集  
ジュヌビエーヴ・沙羅  
クリスマスイヴのミステリー心理テスト…17

●テスト＆アドバイス  
マドモアゼル・愛  
もっと「私」を好きになるための  
自己発見テスト…73

●MB恋愛講座  
両思いになったのに不安  
彼とつき合ってどういうこと…?…85

●占い特集  
恋愛運、友情運、金運…顔はすべてを表わしている  
デイリー人相大図鑑…93

●神祕特集  
オリエンタリス・ウラニア  
“虫の知らせ”や“予感”はどーして起こるの?  
予知能力のふしき…117

●読者体験集  
今だから話せる!!  
私たちの90年ザンゲ大会…137

●おまじない集  
はや  
90年もっとも流行ったおまじない…141

●神祕特集  
マーク・矢崎治信  
あなたの運命の相手が見つかる!  
前世の戦士占い…149

●ボイス心理☆接近チェック(特別版)  
人気アイドルに聞いてみました!  
ボクの理想の女の子は……173

●シーズン特集  
マドモアゼル・愛  
心に残る聖書の言葉…178

●巻末占い特集  
小林多助  
音波姓名学でみる  
HAPPY名前占い…197

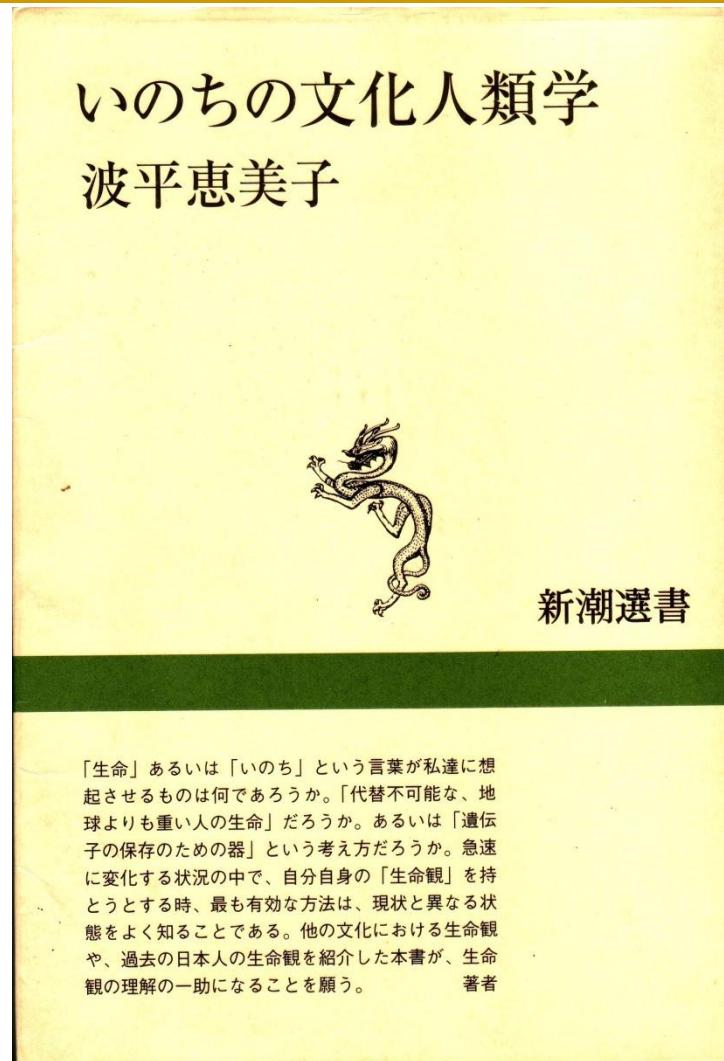
MBコンピューター占いアルバム…177、MBインフォメーション…  
178、魔女っこハウス通信…189、ショッピングコーナー…190、  
スタッフからの手紙&撮影協力店…192、MB 1月号のお知らせ…193

### III. 世代間連帯と人口問題

「しかし、高いモラルを維持している日本社会のなかで、彼らがどうしても我慢できなかつたのは、間引きとか墮胎がきわめて簡単に行われているという事実でした。

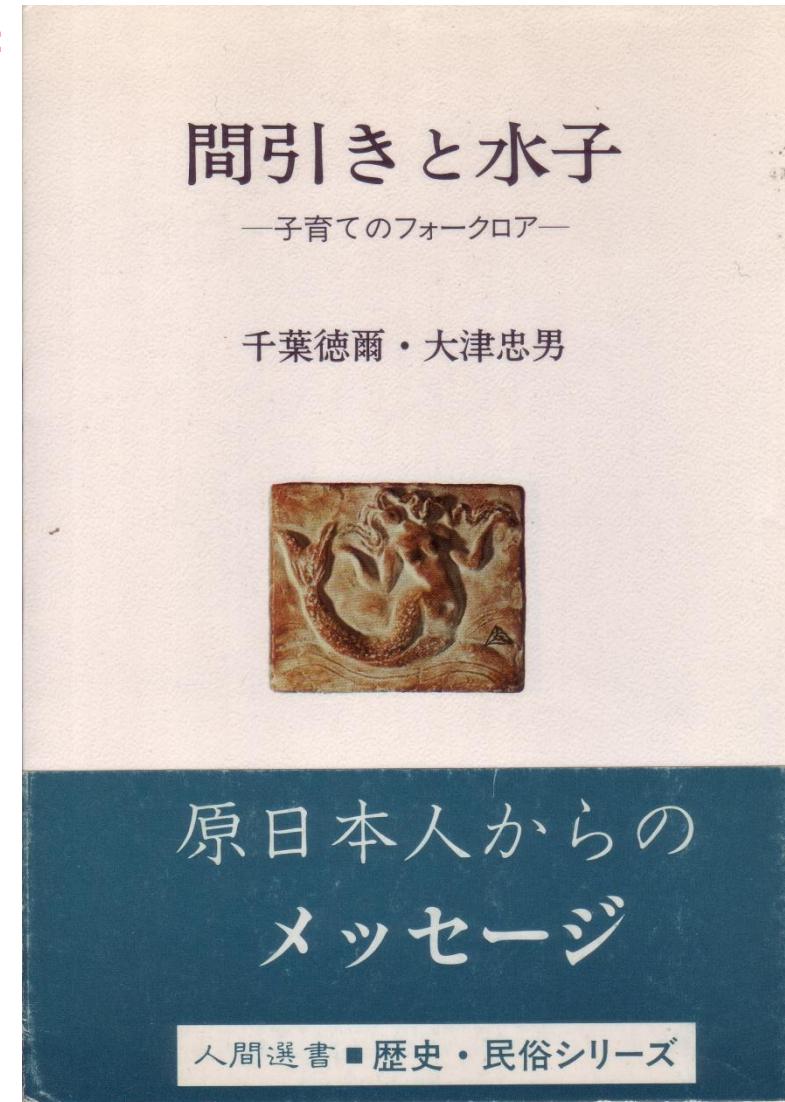
アルメイダという司祭が北九州にそうしたなかで、日本で最初の西欧的な病院を建てたといわれますが、実はそれは病院ではなく、一種の「子捨て」の箱でした。生まれた子どもを殺すぐらいなら、教会の門前に置いた箱の中に捨てていって欲しい、自分たちが育てるから、というのがその趣旨です。」

村上陽一郎



波平 恵美子 (著)  
『いのちの文化人類学』  
新潮社 (1996/08)

1996年

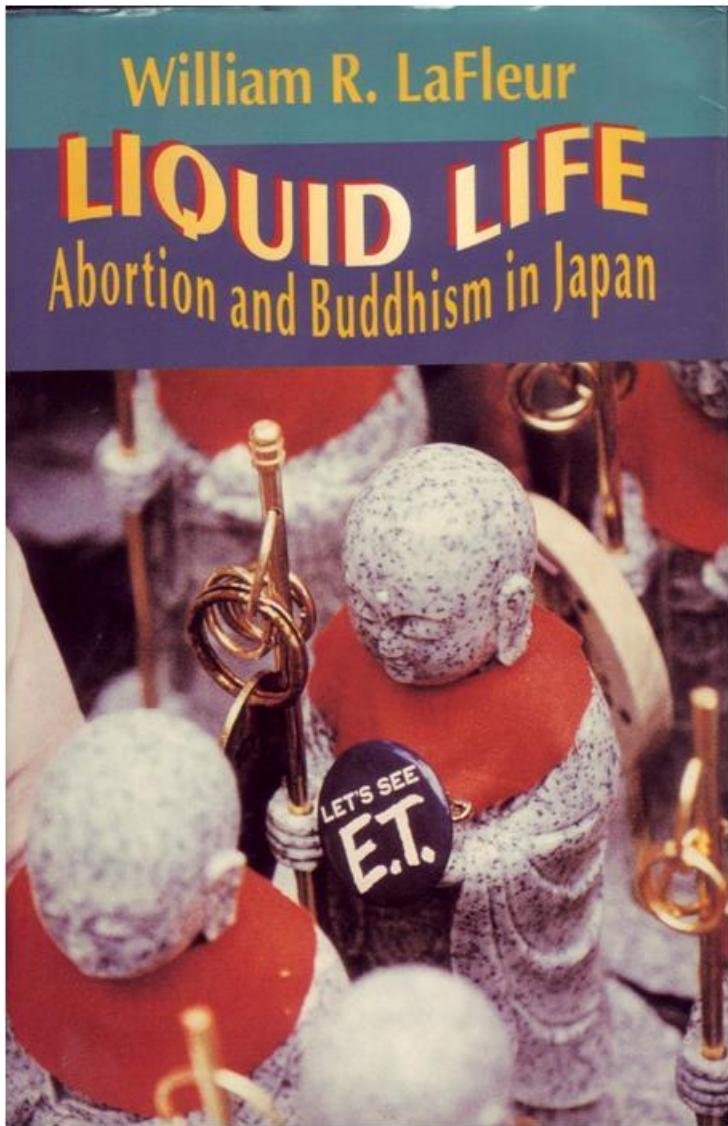


千葉 徳爾 (著), 大津 忠男 (著)  
『間引きと水子—子育てのフォークロア』  
農山漁村文化協会 (1983/01)

1983年

- 「子供の生まれかわりの信仰の背景には、以前にも述べたように、かつて日本人の間には一人一人の人間の個別性よりも、ある「家」やある土地に生まれ、一定期間の人生を生きて死んでゆく者は、一つの大きなのちのプールのようなものの中から、ある時間帯だけこの世に生まれ出て来て、死ぬと、またそのいのちのプールに帰るとでも比喩できるような、個人のこの世での生命を強調しないのちの観念があった。」
- 「生まれてすぐに死んだ子供の名前をその後数年を経ずに生まれた子供にそのまま付けることがかつて頻繁に行われた。あるいは幼くて死んだ子供の葬式は行わず戒名も与えなかった地域が全国で見出され、その理由を、「すぐに生まれかわるように」といっていたことなどを考え併せると、いのちを個別のものと考える傾向が小さかったことをうかがわせる。」

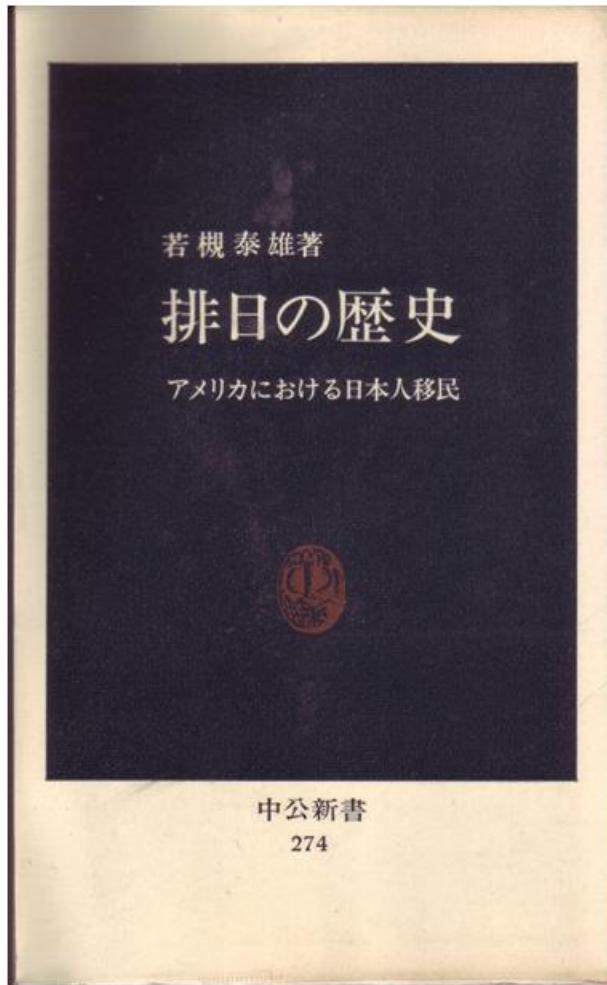
- 「私が訪れた家の、世帯主の父親に当たる人はその頃六〇歳代半ばだったが、インタビューのあと支度をして山へ出かけるという。それは桜の苗木を山に植えるためであった。その人は、自分の家の前の「マエヤマ」(家の正面に立った時に見える山の風景あるいは山そのもの)に見える桜の木は、自分の祖父が植えたものであり、今後生まれてくる孫や曾孫の代の人々が自分の植えた満開の山桜を楽しめるように、今のうちに桜の苗木を植えておくのだと言つた。」



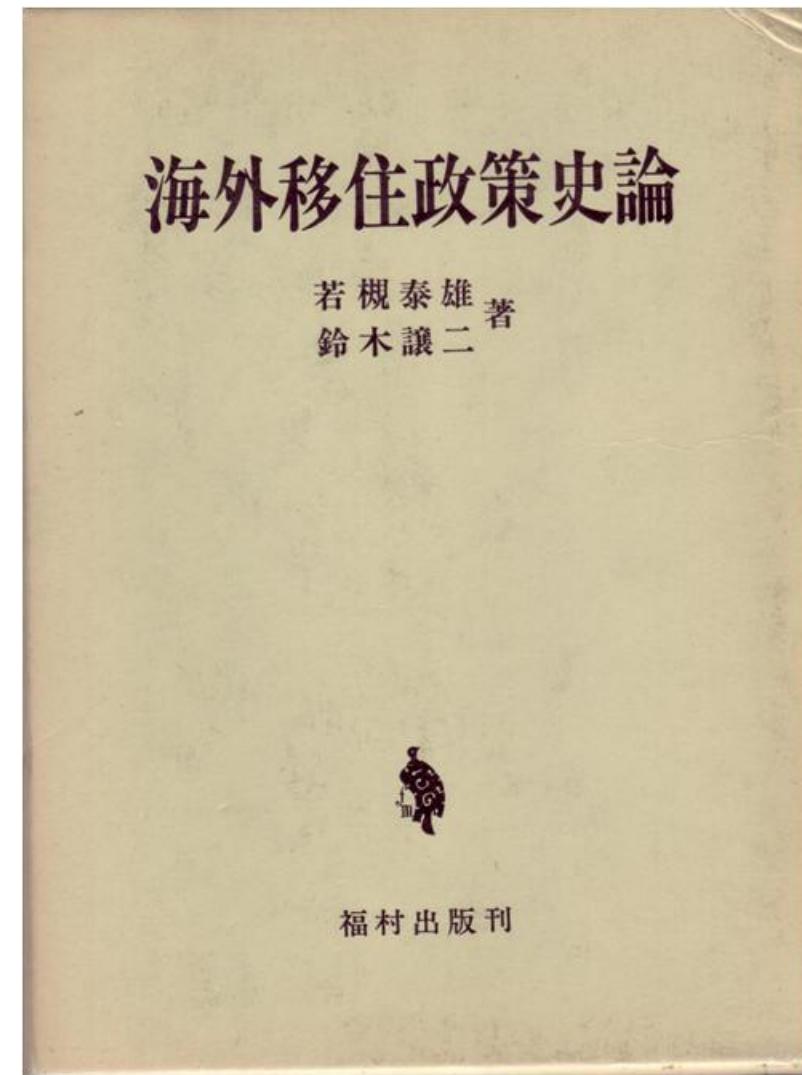
William R. Lafleur (著)  
“Liquid Life: Abortion and Buddhism in Japan”  
Princeton Univ Pr (1994/10/17)

著作権処理の都合で、  
この場所に挿入されていた  
『水子—“中絶”をめぐる日本文化の  
底流』  
の表紙を省略させていただきます。

‡



‡



若槻泰雄(著)  
『排日の歴史—アメリカにおける日本人移民』  
中央公論新社(1972/01)

若槻泰雄(著), 鈴木譲二(著)  
『外移住政策史論』  
福村出版(1975)

今我國總人口を、植民地人口を加算せる歐米各國と比較するに、我國は第六位に立つ。

一、英吉利	五二年	四六,三八,六五
二、露國	六〇年	三八,三三,七五
三、北米合衆國	五〇年	二〇,六〇,五五
四、佛國	五一年	六,七三,三
五、獨逸	五〇年	六,五四,六三
六、日本	五三年	七,七九,六五
七、墳甸國	五〇年	四,四六,四三
八、和蘭國	五九年	三,七二,一五五
九、伊太利	五二年	三,〇〇四,〇〇〇

#### 乙 植民地人口及び密度

以上は内地人口と新附人口とを合算せるものであるが、凡そ植民地なるも

のが、本國における過剰人口を收容し、本國生産品の消費地として、或は本國に對する原料供給地として有要なる以上は、内地人口と植民地人口との關係を調査することは、最も必要なりといはなければならぬ。而して我國の植民地として考ふべきものは、臺灣、樺太、朝鮮及び關東州、滿洲鐵道附屬地は之を含ます。これである。今これ等植民地における人口を見るに、

年 次	本國乙種 現住人口	植 民 地	本國人口に對する 植民地人口の割合	備 考	臺灣人口加はる
三十一年末	四,七六四〇	二,九〇〇	六・五%		
三十九年末	四,五二,〇〇	三,七七,〇〇			
四十三年末	四,七六,〇〇	七一			
大正二年末	五,一二,〇〇	五,一二,〇〇			
	五,五二,〇〇	五,五二,〇〇			
	五,五五,〇〇	五,五五,〇〇			
	五,五七,〇〇	五,五七,〇〇			
	五,五九,〇〇	五,五九,〇〇			
	五,六一,〇〇	五,六一,〇〇			
	五,六三,〇〇	五,六三,〇〇			
	五,六五,〇〇	五,六五,〇〇			
	五,六七,〇〇	五,六七,〇〇			
	五,六九,〇〇	五,六九,〇〇			
	五,七一,〇〇	五,七一,〇〇			
	五,七三,〇〇	五,七三,〇〇			
	五,七五,〇〇	五,七五,〇〇			
	五,七七,〇〇	五,七七,〇〇			
	五,七九,〇〇	五,七九,〇〇			
	五,八一,〇〇	五,八一,〇〇			
	五,八三,〇〇	五,八三,〇〇			
	五,八五,〇〇	五,八五,〇〇			
	五,八七,〇〇	五,八七,〇〇			
	五,九〇,〇〇	五,九〇,〇〇			
	五,九三,〇〇	五,九三,〇〇			
	五,九六,〇〇	五,九六,〇〇			
	五,九九,〇〇	五,九九,〇〇			
	六,〇二,〇〇	六,〇二,〇〇			
	六,〇五,〇〇	六,〇五,〇〇			
	六,〇八,〇〇	六,〇八,〇〇			
	六,一〇,〇〇	六,一〇,〇〇			
	六,一三,〇〇	六,一三,〇〇			
	六,一六,〇〇	六,一六,〇〇			
	六,一九,〇〇	六,一九,〇〇			
	六,二二,〇〇	六,二二,〇〇			
	六,二五,〇〇	六,二五,〇〇			
	六,二八,〇〇	六,二八,〇〇			
	六,三一,〇〇	六,三一,〇〇			
	六,三四,〇〇	六,三四,〇〇			
	六,三七,〇〇	六,三七,〇〇			
	六,四〇,〇〇	六,四〇,〇〇			
	六,四三,〇〇	六,四三,〇〇			
	六,四六,〇〇	六,四六,〇〇			
	六,四九,〇〇	六,四九,〇〇			
	六,五二,〇〇	六,五二,〇〇			
	六,五五,〇〇	六,五五,〇〇			
	六,五八,〇〇	六,五八,〇〇			
	六,六一,〇〇	六,六一,〇〇			
	六,六四,〇〇	六,六四,〇〇			
	六,六七,〇〇	六,六七,〇〇			
	六,七〇,〇〇	六,七〇,〇〇			
	六,七三,〇〇	六,七三,〇〇			
	六,七六,〇〇	六,七六,〇〇			
	六,七九,〇〇	六,七九,〇〇			
	六,八二,〇〇	六,八二,〇〇			
	六,八五,〇〇	六,八五,〇〇			
	六,八八,〇〇	六,八八,〇〇			
	六,九一,〇〇	六,九一,〇〇			
	六,九四,〇〇	六,九四,〇〇			
	六,九七,〇〇	六,九七,〇〇			
	六,一〇〇,〇〇	六,一〇〇,〇〇			
	六,一〇三,〇〇	六,一〇三,〇〇			
	六,一〇六,〇〇	六,一〇六,〇〇			
	六,一〇九,〇〇	六,一〇九,〇〇			
	六,一一二,〇〇	六,一一二,〇〇			
	六,一一五,〇〇	六,一一五,〇〇			
	六,一一八,〇〇	六,一一八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			
	六,一二九,〇〇	六,一二九,〇〇			
	六,一二二,〇〇	六,一二二,〇〇			
	六,一二五,〇〇	六,一二五,〇〇			
	六,一二八,〇〇	六,一二八,〇〇			
	六,一二一,〇〇	六,一二一,〇〇			
	六,一二四,〇〇	六,一二四,〇〇			
	六,一二七,〇〇	六,一二七,〇〇			
	六,一二〇,〇〇	六,一二〇,〇〇			
	六,一二三,〇〇	六,一二三,〇〇			
	六,一二六,〇〇	六,一二六,〇〇			



59. 出 棧

若槻 泰雄 (著), 鈴木 讓二 (著) 『家の神』  
淡交社(1972/09) p58-59より転載



圭室 謹成 (著)

『葬式仏教』

大法輪閣(2004/08)

著作権処理の都合で、  
この場所に挿入されていた  
『葬祭仏教—その歴史と現代的課題』  
の表紙を省略させていただきます。



養成所開所式 昭和五九年四月二十五日  
於蓮台院

曹洞宗山形県第三宗務所梅花流三十周年記念誌編集委員会  
『梅花流三十周年記念誌』  
(1985/12)  
p62より転載

著作権処理の都合で、  
この場所に挿入されていた  
「お墓参りと手順」  
を省略させていただきます。

†  
高齢社会の手引き

変わるお葬式、消えるお墓  
—最期まで自分らしく—

小谷みどり



高齢期を生きる人、  
高齢者を支える人に  
知恵と情報を



永代供養墓、宇宙葬、お葬式の生前契約……  
いま何が起きているのか

岩波書店 定価(本体1500円+税)

小谷みどり(著)

†『変わるお葬式、消えるお墓—最期まで自分らしく』  
岩波書店(2000/03) p69,172より転載

